

苫小牧と千歳で「相談会」

19人から建退共・じん肺・振動障害・難聴などの相談

道本部労災職業病部会と苫小牧建設支部・千歳労災支部は、3月2日に苫小牧市で「建退共・職業病相談会」を、3月3日には千歳市で「職業病・健康相談会」を開きました。

苫小牧の相談会は、勤医協苫小牧病院にも協力してもらって2会場でおこない、6人からの相談を受けました。相談内容は、建退共が3件とじん肺2件、振動障害2件の合計7件でした。じん肺と振動障害の相談者については勤医協での受診を薦めました。

千歳の相談会は地元の北星病院を会場にしておこない、13人が相談に来ました。相談内容は、振動障害が3人、上肢障害が1人、じん肺が6人、難聴が3人で、振動障害と上肢障害は北星病院を受診してもらい、じん肺については札幌の医療機関を紹介することにしました。難聴についても2人が受診予定（1人は時効）です。

旭川の「相談会」に6件の相談

旭川支部は3月3日に旭川市内2会場で「建退共・職業病相談会」を開き、電話をふくめて6件の相談がありました。相談内容は、建退共が4件と職業病が2件で、職業病の相談1件については労災申請にむけて準備をすすめることになりました。この人は、2007年に道北勤医協で「胸膜プラーク・石綿肺・続発性気管支炎」の診断を受けていましたが、当時はまだ仕事をしていたため労災申請を断念しました。支部ではチラシによる宣伝とともに、これまでの相談者にダイレクトメールを送り、この人は昨年7月に退職したので相談に来ました。

函館合同支部の4分会が統一要求を提出 月額2万円賃上げ・夏季一時金50万円

函館合同支部と函館小型運送分会、月寒運輸分会、昭和運輸分会、東洋実業分会は2月28日に春闘統一要求書（各分会の独自要求ふくむ）を提出しました。賃上げについては、月額2万円/日額1,500円/時間額170円以上の引き上げを要求し、最低賃金月額17万円以上/日額8,000円以上/時間額1,000円以上、夏季一時金は平均50万円、越冬手当は灯油1,800円（世帯主）+2万円などです。このほか、雇用保障と労働時間短縮、休暇制度などの改善、雇用継続・退職給付、安全・安心な職場づくり、職場の権利保障・福利・厚生などの要求もまとめています。函館小型運送分会は「運行手当」について、月寒運輸分会は団体交渉のあり方や「有給休暇」「振り替え代休」など、昭和運輸分会は「雇用延長労働者の賃金」「個人償却制」「振り替え代休」などについて要求しています。

各職場組織の春闘要求書のコピーを道本部に送ってください